

Ⅰ期肺癌で放射線治療を受けられた皆様へ

放射線医学総合研究所において、Ⅰ期肺癌に対して日本で行われた重粒子線治療とX線を用いた定位照射の治療関連データを収集し、包括的な肺癌放射線治療の安全性と有効性を評価する研究事業を行っております。特に、本研究では過去に行われた高齢者のⅠ期肺癌に対する放射線治療の治療成績を解析することにより、放射線治療による利点のある背景因子を見出すことを目的としています。

この研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

もし、詳しいことをお知りになりたい場合には、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また、個人情報保護法に基づく開示手続き等を希望される場合にはお申し出ください。

[研究課題名] 高齢者Ⅰ期肺癌に対する炭素線治療症例と定位放射線治療の臨床結果評価

[研究機関] 放射線医学総合研究所

[協力研究機関] 山梨大学医学部附属病院、東京大学医学部附属病院、九州大学病院、新潟県立がんセンター新潟病院、先端医療センター病院、京都大学医学部附属病院、名古屋市立大学病院、東北大学病院、弘前大学医学部附属病院、千葉大学、広島大学、山形大学、国立がんセンター中央病院

[研究責任者] 軽部 雅崇

[研究の目的] 過去に国内の研究協力施設で放射線治療を受けた80歳以上のⅠ期肺癌患者を対象として重粒子線治療、X線による定位照射の治療関連のデータを収集し、放射線治療による利点のある背景因子を見出す

[研究の方法]

●対象となる方々

平成15年（2003年）4月1日～平成24年（2012年）3月31日にⅠ期肺癌に対して重粒子線治療若しくはX線定位照射で治療をした方の中で、治療開始時に80歳以上の方。

●利用する情報

治療に関連して得られた、診断名、年齢、性別、病歴、有害事象、予後情報

新たな質問や検査はありません。

[個人情報の取り扱い]

お名前、その他の個人情報が表に出ることは、一切ありません。

利用する情報からは、氏名、その他の個人を直接同定できる情報は削除します。山梨大学医学部附属病院にデータを集約しますが、個人情報を全て除いたデータのみを提供します。研究成果は、解析した全体の数字として学会や学術雑誌で発表されますが、その際に個人名などが表に出ることは絶対にありません。（国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所個人情報保護規程及び個人情報保護取扱細則に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います。）

この研究にご自分のデータを使ってほしくない方、またはそのご家族は、2016年11月30日までに申し出ください。

この調査へのご自分のデータの使用をお断りになっても、不利益を受けることは全くありません。

[問い合わせ先：窓口]

千葉県千葉市稲毛区六川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所

病院 事務課 電話：043-206-3306（平日9:00～17:00）